

科目名 (科目番号)	リハビリテーション看護学	教員名 岡嶋妙子、椎名清和 小林聖美、永井智、 非常勤講師 他	学科等	看護	選択	履修年次	3
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	演習	オフィスアワー	別紙参照	
授業概要	環境や健康状態の変調、身体機能の障害により日常生活や地域での活動・参加を妨げられた患者や家族の療養環境の調整、廃用性機能低下や合併症予防、障害受容プロセス、セルフケアの再構築への援助、障害福祉施策、社会資源活用、多職種連携などを系統的に学修する。さらに、看護専門職者として安全で高い看護を主体的に実践し、多職種連携における役割と機能を認識し、チームの一員として連携・協働できる看護職者に成長するための基盤となる知識と技術を獲得する。						
目的・目標	目的:リハビリテーション看護の役割を理解し、障害をもつ対象の生活を支える知識と技術を習得する。 目標:①リハビリテーション看護の理念、目的、対象、リハビリテーション看護の役割を理解する。 ②障害をもつ対象の生活を支える知識と技術を理解する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	リハビリテーション概論・看護概論	到達目標:リハビリテーションの定義と理念、リハビリテーションの分野、機能障害と分類、多職種連携について理解する。リハビリテーション看護の定義、対象のライフステージと疾病経過別における看護を理解する 学習内容:コースガイドンス、リハビリテーションの定義と理念、リハビリテーション看護の定義と専門化、リハビリテーションの対象について学習する				
	2	医学リハビリテーション分野の専門職者と看護の連携	到達目標:医学リハビリテーション分野でのチーム医療・多職種連携、IPWについて理解できる。 学習内容:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門性と看護との連携の実際を学習する。				
	3	障害者の心理的支援	到達目標:自己受容と社会受容を理解し、心理的支援において重要な点を説明できる 学習内容:障害をもちながら社会活動をしている方の体験等から障害を受容する心理過程や社会環境について学習する。				
	4	職業リハビリテーション障害者に対する就労支援	到達目標:職業リハビリテーションの概要を理解し、看護師として留意すべき事柄を説明できる 学習内容:障害者に対する就労支援の概要について学習する [診療放射線学科 椎名清和 教員]				
	5	リハビリテーション看護の方法	到達目標:日常生活活動(ADL)、参加と参加制約、QOLの評価と日常生活援助方法を理解する 学習内容:リハビリテーション看護に必要な評価スケールとアセスメントおよび援助方法を学習する				
	6	運動機能障害のある対象への看護①	到達目標:運動機能障害のある対象の特徴と生活の再構築に向けた看護を理解する 学習内容:脊髄損傷患者の自助具の活用や生活の再構築に向けた看護などを学習する [非常勤講師: 筑波記念病院 森純子 師長]				
	7	運動機能障害のある対象への看護②	運動機能障害のある対象の特徴と生活の再構築に向けた看護を理解する 学習内容:慢性関節リウマチ患者の自助具の活用や生活の再構築に向けた看護を学習する				
	8	装具を必要とする対象への看護	到達目標:理学療法士の役割を知り、一般的な装具の特徴と看護を理解する。 学習内容:理学療法士の概要を知り、一般的な装具の種類と使用方法、注意点を学習する [理学療法学科 小林聖美 教員]				
	9	【技術演習】運動機能障害のある対象の機能評価と援助	到達目標:運動機能障害における評価と測定方法、移動・移乗と歩行補助具の選び方などを習得する 学習内容:運動機能障害の評価と援助方法を学習する				
	10	高次脳機能障害のある対象への看護	到達目標:高次脳機能障害とは何か、高次脳機能障害の特徴と看護を理解する 学習内容:高次脳機能障害のある対象の看護を学習する [非常勤講師:牛久愛和総合病院 坂本理恵 認定看護師]				
	11	摂食・嚥下機能に障害のある対象への看護	到達目標:嚥下障害のある対象の理解と評価および援助を習得する 学習内容:、摂食・嚥下機能障害のある対象の評価方法、機能訓練や援助を学習する [非常勤講師:筑波記念病院 阿部真由美 認定看護師]				
	12	【技術演習】感覚機能障害のある対象への支援	到達目標:感覚機能障害のある対象の特徴と生活の再構築に向けた援助を理解する 学習内容:視覚障害、聴覚障害のある対象の特徴と生活の再構築に向けた援助を学習する				
	13	障がい者スポーツと看護 ①	到達目標:障がい者のリハビリテーション、生きがいとしてのスポーツのあり方と医療との関わり、健康管理を理解する 学習内容:障がい者スポーツの種類、区分、健康管理上の注意点、今後の課題を学習する [理学療法学科 永井智 教員]				
	14	障がい者スポーツと看護 ②	到達目標:障がい者のリハビリテーション、生きがいとしてのスポーツのあり方と医療との関わり、健康管理を理解する 学習内容:障がい者スポーツの種類、区分、健康管理上の注意点、今後の課題を学習する [理学療法学科 永井智 教員]				
15	リハビリテーション看護の発展と課題	到達目標:社会貢献、RH医療の展開におけるRH看護の発展と課題について理解する 学習内容:大規模災害リハビリテーション支援、教育リハ、最新医療において期待される看護の役割について学習する。					
成績評価の方法・基準	レポート (100%) 対面時、オンライン時同様						
教科書	1)ナーシング・グラフィカ 成人看護学5:リハビリテーション看護 第5版 ※1)は2年次に購入済み		1)奥宮暁子 他		1)メディカ出版		
参考図書	1)新改訂 写真でわかるリハビリテーション看護アドバンス 2)リハビリテーション医学・医療コアテキスト 3)新版 ケアを受ける人の心を理解するために 4)バラスポーツ・ボランティア入門		1)林泰史 監修 2)日本リハビリテーション医学会 監修 3)渡辺俊之 4)松尾哲矢 他		1)インターメディアカ 2)医学書院 3)中央法規 4)旬報社		
教員からのメッセージ	・学内での演習時には、必要な感染予防策を図り実施します。 ・レポート課題は提出後に教員からのコメントをレポート内に記載し、科目終了までに授業内で返却します。 ・総合病院や施設などで勤務経験のある看護師、理学療法士が授業を担当します。 ・オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、クラスルームで変更のシラバスを周知いたします。						